

英語科の取組を紹介します

【アメリカ短期留学生受入】

7月1日～5日、アメリカフェンクリーク高校から8名の留学生を迎え、英語科の生徒がバディ（相棒）となり、一緒に授業を受けたり、校外学習に出かけたりしました。英語の授業では、小グループに分かれ、生徒が英語で自分の好きな漢字のプレゼンテーションを行い、留学生がその中からお気に入りの漢字を選びました。放課後には書道部と一緒にその漢字を書くことに挑戦しました。校外学習では、生徒による企画・案内での松島観光や、バディが通訳補助と一緒に踊る日本舞踊体験などを行いました。

英語科の生徒が留学生と共に様々な体験をする中で、実践的英語力を高めるだけでなく、文化的な多様性を肌で感じる事ができた一週間でした。



【英語科発表会】

8月29日（木）、仙台市泉区の仙台銀行ホールイズミティ21で、英語科発表会が開催されました。この発表会では、英語科に在籍する全学年の生徒が英語で発表をし、当日の運営も全て生徒達が行います。発表会では、レシテーション（物語の暗唱）、ショーアンドテル（好きな物の写真を見せて発表）、プレゼンテーション（興味を持った課題について発表）、スキット（劇）、ディベート（あるテーマに関して賛成派、反対派に分かれて討論）等が披露されました。



生徒たちは、緊張しながらも、普段の学習の成果を発揮し、英語によるパフォーマンスを行いました。普段から指導に関わるALTからは、「楽しみにしていた。3年生になるとレベルアップして本当に素晴らしかった」との講評を、来賓として参観いただいた宮城県教育委員会の指導主事の星先生からは「大勢の人の前で英語で話すことの緊張を乗り越え、発表の準備に大変な努力してきたことが見える素晴らしい発表でした」との講評をいただきました。